

労働安全衛生マネジメントシステム OHSAS18001:2007

OHSAS18001の誕生

- OHSの認証審査用規格を求める強い要請に応じて開発
- 開発メンバー：BSI,DNV,BVQI,LRQA,SGS等
- OHSAS 18001は、14001との互換性を考慮
- ISOの規格発行後OHSAS 18001は取り下げ
- ガイド規格としてOHSAS 18002

OHSAS18001の構成

Plan

- OH&S 方針
- 危険源特定
リスクアセスメント
管理策
- 法的その他の要
求事項
- 目標
- 実施計画

Do

- 資源、役割、実行
責任、説明責任
及び権限
- 力量、教育訓練
及び自覚
- コミュニケーション、参
加及び協議
- 文書類
- 文書管理
- 運用管理
- 緊急事態への
準備及び対応

Check

- パフォーマンスの測
定及び監視
- 順守評価
- 発生事象の調
査、不適合、是
正処置及び予
防処置
- 記録の管理
- 内部監査

Act

- マネジメントレビュー

1. 適用範囲

- 労働安全衛生のリスクを管理し改善する
- どのような組織にも適用可能
 - A) OHSリスクの除去または低減を図る
 - B) OHSMSを実施、維持、継続的改善を図る
 - C) OHS方針との適合を図る
 - D) OHS方針との適合を外部に示す
 - E) 第3者による審査、登録を求める
 - F) OHSMSの適合を自己宣言する

2. 関連出版物

□OHSAS18002:2008

- OHSAS18001実施のための指針

□ILO-OSH:2001

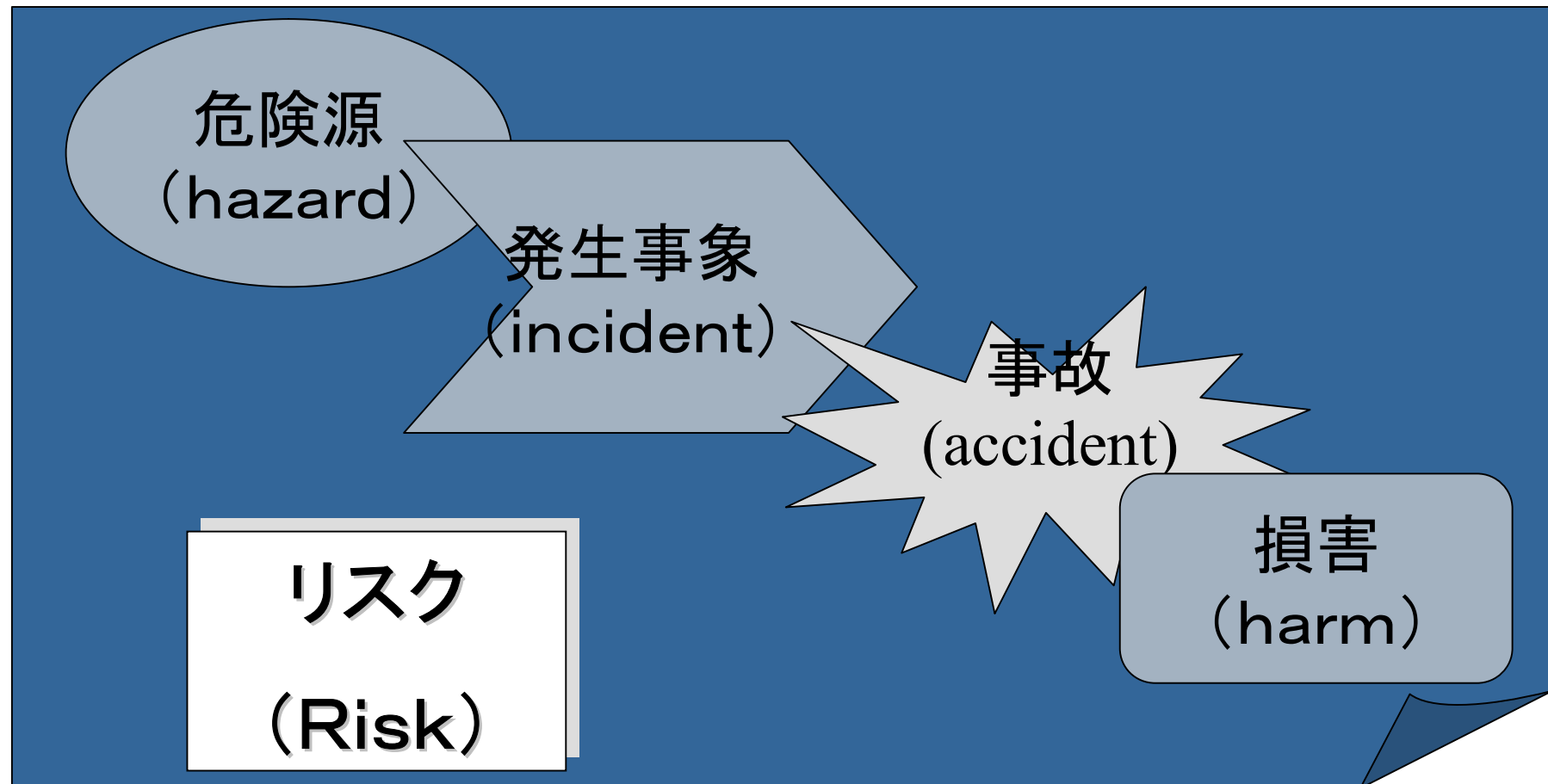
- 労働安全衛生マネジメントシステムに関するガイドライン
(OSH-MS)

□ISO9001:2008

□ISO14001:2004

□ISO19011:2002

3. 用語と定義



4. OHSMSの要素

- 4. 1 一般要求事項
- 4. 2 OHS方針
- 4. 3 計画
- 4. 4 実施及び運用
- 4. 5 点検
- 4. 6 マネジメントレビュー

4.1 一般要求事項

- OHSMSを“確立”し“文書化”し“実施”し“維持”し“継続的に改善”する
- 確立
 - ある一定水準の永続性
 - システムの全ての要素が実証的に実施される
- 維持
 - 確立後、システムが継続して運用される
 - 組織の積極的な努力が必要

4. 2 OHS方針

- トップは方針を設定する
- 方針は次の内容を満足する
 - A) リスクの性質、規模に見合う
 - B) 継続的改善をする誓約を含む
 - C) 労働安全衛生関連法やその他の同意する法規を遵守する誓約を含む
 - D) OHS目標の設定・レビューの枠組みを与える
 - E) 文書化、実施、維持される
 - F) 全従業員が義務を自覚するよう周知する
 - G) 利害関係者が入手出来る
 - H) 妥当かつ適切であるよう定期的に見直す

4.3 計画

4.3.1 危険源の特定・リスクセメント及び管理策の決定

- リスクアセスメント手順の確立・実施・維持
- 以下を含む
 - 定常活動と非定常活動
 - 職場に立ち入るすべての人の活動(請負者、訪問者を含む)
 - 人間の行動、能力、その他人的的要因
 - 職場外の危険源、職場付近の危険源
 - 職場で使用されるインフラストラクチャー、設備、原材料(他からの提供を含む)
 - マネジメントシステムの修正、プロセス・活動への影響
 - 法的義務
 - 作業領域、プロセス、施設、機械設備／機器、操作手順、勤務・作業体制の設計
- OHS目標設定にRAの結果を考慮
- RAの文書化とアップデート

4.3.1 危険源の特定・リスクセメント及び管理策の決定

- リスクアセスメントの方法論は次のとおり
 - 事後活動でなく予防活動とする
 - 目標、MPにて除去、管理されるべきリスクの等級分け、特定を規定
 - 運用経験および使用しているリスク管理手段の能力と矛盾しない
 - 設備の要求事項の決定、訓練ニーズの特定、運用管理の進展にインプットを提供する
 - 管理策の有効性、適時性を確実にするために必要とされる活動のモニタリングを規定

(続<)
